

東洋大学「かさま結マール」終了について

地場農産物の生産・消費拡大、首都圏の若年層に対する笠間市の知名度向上を図るため、首都圏に立地する大学と連携し、販促強化事業を実施したが、平成28年3月を以って終了することとした。

1. 事業終了の理由

全国的にも例のない取組みであり、目的達成のため「メニュー開発」「看板・装飾類等の店舗ディスプレイの工夫」「食材の供給体制の確立」「人員体制強化」などを行い運営してきた。

しかし、苦しい経営となり、改善策を講じながら運営したが、赤字状態は解消できず、今後も黒字に転じることは困難であるとの見通しと、事業を継続することにより、赤字が増幅してしまうとの判断により、早期終了することを決断した。

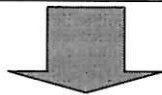
2. 事業実績

- ①実施場所…東洋大学白山キャンパス カレッジコート（学生食堂）
- ②店舗営業期間…平成27年5月18日～平成28年1月27日(159日間)
※店舗契約は、平成28年3月31日となっているが、2月から大学が春休みとなるため、営業は1月で終了
- ③メニュー提供数…10,093食（平均63食/日）※1日平均目標数150食/日
月別平均提供数

5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
83	57	58	92	39	48	60	68	94

④収支状況

総収入額（予定）	総支出額（予定）	決算額（予定）
10,169,050 円	15,233,087 円	▲5,064,037 円



収入総額内訳

項 目	金 額	備 考
地域住民生活等緊急 支援交付金	3,000,000 円	委託料（市） ※国の交付金を活用
販売促進強化事業委 託料	1,937,000 円	委託料（市）9月補正 ※市の一般財源
食堂売上	5,232,050 円	
合 計	10,169,050 円	

3. 決算額の処理

損失額の 5,064,037 円については、農業公社の他の事業収益等から 2,564,037 円を支出し、残り 2,500,000 円は、市から農業公社へ支出する予定。(3月補正対応)

《市から農業公社へ支出する理由》

- ア) 本事業は市から事業を委託したものであるため。
- イ) 農業公社は、設立して約 1 年と日が浅く、資金確保が困難なため。
- ウ) 現段階での、資金調達による高額な借入は、今後の運営に支障をきたす恐れがあるため。

4. 赤字の要因

- ①笠間食材の利用及び配送を行うため、材料高となったこと。
- ②栄養士 1 人を含むスタッフ 8 人（臨時職員・パート）で勤務体制を組んだが、体制づくりに苦慮し、結果として人件費が当初計画を上回ったこと。
- ③カレッジコート内の 6 店舗が提供している類似メニュー（カレーライス、ハンバーグ、パスタなど低コストのメニューなど）は提供できなかったことにより利用者が伸びなかったこと。
- ④店舗の位置が、カレッジコートの一番奥にあるため、認知されにくかったこと。
- ⑤販売料金（定食 500 円等）が決められているため利益率が低かったこと。

5. 事業効果

- ①東洋大学の学生や教職員、周辺住民の方々に食を通じて「笠間市」を知ってもらう事ができた。
- ②社会学部の学生 16 名が、グリーンツーリズムのフィールドとして笠間で平成 27 年 8 月に夏合宿（市民との交流）を実施した。
- ③本事業で開発したメニューや食材を他のイベントで提供することができた。
- ④本事業により関係を深めた市内生産者と、農業公社主催の事業で連携できた。
- ⑤食材として利用した農畜産物の販路拡大が図れた。